

教員業務内容報告書

報告者氏名	辻 豊	所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画			実績			記載事項例
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)		
教育	30	遠隔授業のスタイルも確立され、時間配分等もわかってきたので、授業中の演習等を工夫し、教育効果が上がるように努力したい。また、学生寮に割かれていた時間が使えるようになるので、化学の苦手な学生に時間を割くように心がけたい。 担当科目:化学1(4単位)・教養化学(2単位)・分析化学実験(2単位)・有機化学実験(3単位)・応用化学実験(2単位)・科学技術史(1単位)・生物応用化学入門(1単位)・有機合成化学(1単位)・専攻科研究論文・専攻科研究基礎・卒業研究					担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容
研究	20	2-Phenylethyl系を用いたトシレートとブロミドの脱離能の違いについて、興味深い結果が出ているので、学会発表等につなげるようにしたい。					論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金
学生生活指導	10	ソフトテニス部顧問として、ここしばらく主顧問の常木先生にお任せしていたところがあったので、積極的に時間を割くようにしたい。					クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	30	今年度は就職担当を拝命したので、就職100%を目指し、学生指導をしたい。					主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員
社会活動	10	公開講座・出前授業等機会があれば接触的に参加したい。日本化学会・基礎有機化学会					所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。